

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

京都府立大学との協定に基づく 共同研究成果報告会



【森林整備部 技術普及課】 3月12日（木）、近畿中国森林管理局大会議室において、「近畿中国森林管理局と京都府立大学の協定に基づく共同研究 平成26年度成果報告会」を開催しました。

報告会には、局署職員や大学関係者、研究機関、民間会社等から約80名が参加し、京都府立大学の田中和博副学長や京都大阪森林管理事務所の山崎所長ら4名が成果報告を行いました。当日は、森林官会議に出席した各署等の森林官も聴講しました。

近畿中国森林管理局と京都府立大学は、平成25年11月に「連携と協力に関する協定」を締結し、それぞれの人材、資源、フィールドや研究データの活用を図りながら、森林・林業の再生や地域振興に貢献するための調査研究及び人材育成等の取組を行っています。今回は、それらの取組の一つとして、京都府立大学と共同研究した「京都大阪森林管理事務所管内の国有林でのLiDARデータの解析事例」について、成果報告会を開催したものです。本研究におけるLiDARデータは、京都大阪森林管理事務所が京都府立大学へ提供し、大学側がデータの解析等を行ったものです。

最初に、田中副学長から、「LiDARデータを用いた森林管理への期待」と題し、LiDARデータを活用することで、二酸化炭素吸収量推定法の確立、森林の地位判定、路網整備計画や山地災害防止への応用等が期待されることや今後の森林管理においては、樹高情報と立木密度情報の活用が重要になる等の報告がありました。

次に、山崎所長からは、京都大阪森林管理事務所における京都府立大学との連携した取組内容や嵐山国有林における航空レーザー測量の活用事例について紹介がありました。

続いて、京都府立大学大学院生 塩田廣美さんからは、アメリカ合衆国農務省森林局で開発された森林資源解析用ソフト「Fusion/LDV」を使用したLiDARデータの解析事例について発表が行われました。現状では樹高については、ほぼ正確にLiDARデータから取得できるが、樹冠抽出の精度向上などが今後の課題である等の報告がありました。

最後に、京都府立大学4回生 安達太郎さんからは、「LiDARデータによる立木本数推定の可能性」と題し、ArcGISを用いたValley-following法による単木抽出法は、値補間作業についての課題が残るものの、有効な単木抽出法であること等の報告がありました。

当局では、今後も京都府立大学と連携・協力し、森林・林業の再生や地域振興に貢献する各種取組を進めることとしています。

ニュース

「官庁公開フェスティバル2015」を開催

【総務企画部 総務課】 3月9日（月）、10日（火）、近畿中国森林管理局4階会議室において、“「官庁公開フェスティバル2015」”を開催し、41名の国家公務員志望者の方にご参加いただきました。

官庁公開フェスティバルは、国家公務員を志望する方に、今後の職場選びの参考としてもらうため、各官庁が職場を公開し、官庁ごとに特色を活かした様々な催しを行う体験型のイベントです。

当森林管理局では、①林野庁の業務紹介、②職員との懇談・質疑、③執務室の見学を行いました。

『林野庁の業務紹介』では、林野庁の組織、林野庁が推進する施策、国有林の管理、森林官の業務及び林野庁の採用スケジュール等について、事例を示しながら説明を行いました。『職員との懇談・質疑』では、参加者から「森林官の業務、一日のスケジュール」「海外勤務の有無」「技術職採用・事務職採用の業務内容の違い」「業務研修の内容」など、多数の質問がありました。また、当森林管理局の女性職員、男性職員からそれぞれ、採用から現在に到る経歴、森林官として勤務していた時の体験談などもあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、執務室を案内し、職員の業務風景を見ていただき、官庁公開フェスティバルを終了しました。

今回参加いただきました皆様には、国家公務員試験の難関を突破し、是非、林野庁へ入庁いただければと期待しています。



近畿中国森林管理局に10名が入庁！

【総務企画部 総務課】 4月6日（月）、近畿中国森林管理局大会議室において、平成27年度新規採用者10名の入庁式を行いました。

入庁式では、青木局長から「皆さんを林野庁の仲間として迎えることができ大変うれしく思います。国有林野事業は、日本の森林・林業の再生に貢献するため、一昨年度から一般会計から支出される事業へと移行し、公益的機能の維持増進ということにとどまらず、民有林の指導やサポートなど広く我が国の森林・林業の再生に関わる事業を行うことが求められています。皆さんはこのような国有林野事業の転換期に入庁され、仕事をっていくわけです。現場の仕事は多岐に渡っていますが、日々の業務を通じ山の管理を学び、仕事に誇りを持って取り組んでください。また、公務員として社会人としてのルールやマナーは厳しく自覚し、コンプライアンスの意識をしっかりと身につけてください。日本の森林・林業のために頑張ってください。」と、訓示がありました。

局長訓示の後、新規採用者を代表して森林整備部森林技術・支援センターの宮崎亮一さんが「国有林で働けることに大きな希望と責任の重さを感じています。現在、森林資源に対する需要の増加、林業・木材産業での雇用の拡大が期待され、森林吸収源対策、災害防止やレクリエーションの場など森林の多面的機能に対する注目も高まっています。森林が有している多面的機能が十分発揮されるよう、自然という大きな存在と向き合い、次世代のことを考え、森林資源の循環利用、森林環境の保全や地域の振興などに取り組むことに魅力を感じ、この職場を志望するに至りました。必要な知識、技術を一日も早く着実に習得し、また、初心を忘れることなく、国家公務員としての誇り、国民全体への奉仕者としての自覚を持ち、全身全霊で業務に邁進します。」と宣誓しました。

新規採用者10名は、4月1日から管内の森林管理署等に配属され、それぞれの職場で活躍することになります。



お知らせ

第6回「春日奥山古事の森」シンポジウム 森が支える「木の文化」 —第六十次春日大社式年造替記念—

●古事の森とは？

日本の木の文化の象徴である、伝統的木造建築物を後世に伝えていくために200～400年かけて大径・長尺で良質な修復・再建用材を育て、また、伝統的木造建築物と森林のかかわりについて皆さんに知っていただくことを目的に国有林に設定している森林です。

* 開催日時及び場所

6月20日(土)9時：受付開始
奈良春日野国際フォーラム(旧 奈良県新公会堂)

* 第一部(9:20～12:00)

【シンポジウム】春日大社の第六十次式年造替(平成27,28年度)では、建替・修繕・祭祀においてヒノキやマツなどの木材など多種多様にわたる森の資源が使われる。これらの資源を守り育て「木の文化」を次の世代に引き継いでいくため、我々はどうのように考え、行動すればよいのかを考えます。

* 第二部(13:00～15:30)

【春日大社 第六十次式年造替特別拝観】1200年間の長きに亘り20年毎に社殿の造り替えが行われてきた春日大社。本格工事着工前の社殿をご案内いたします。

* 募集要領

[FAX・はがき・メール]にて、[〒住所・氏名・年齢・電話番号]をご記入のうえ、参加希望[一部のみ・どちらも]を選択しご応募ください。

* 申込み締切

平成27年6月12日(金)まで先着200名

* その他

参加費は、500円です。

参加決定者には「参加通知はがき」を送付します。

(6月1日以降、順次送付予定です。)

交通費・昼食は各自ご負担願います。

第二部が工事の都合により変更となった場合には、案内ハガキにて事前にご連絡致します。

* お問い合わせ・申込み先

林野庁 近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所

「春日奥山古事の森」事務局

FAX: 0742-53-1502 TEL: 0742-53-1500

E-Mail: kc_nara@rinya.maff.go.jp

HP: <http://www.rinyamaff.go.jp/kinki/nara/index.html>

「平成27年度国有林モニター」が 決定しました!

国有林モニター制度は、国有林の事業運営等について、国民の皆さまの理解を深めるとともに、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させることを目的としています。

平成27年度については、応募・同意をいただきました85名の方に「国有林モニター」として活動いただくこととなりました。

平成27年度森林のギャラリー展示について

平成27年度森林の展示ギャラリーへの展示参加について若干の空き期間がありますので、引き続き展示団体を募集しております。

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【4月のテーマ：木づかいを楽しもう】

4/13～4/24 高知県観光展

【高知県大阪事務所】

4/13～4/24 マンションの床材を杉に

【NPO 法人国産材住宅推進協会】

4/13～4/27 心にググッとぐんま

【群馬県大阪事務所】

4/13～4/30 地域資源を活かした国産間伐材によるもの造り

【株式会社ホルツベル】

4/13～5/8 みどりの風が吹く疎開のまち ちづ

【智頭町】

【5月のテーマ：地域材等の紹介】

5/11～5/22 京都京北の木を中心とする農林水産物のPR

【京北木材業協同組合】

花草木

今月の花草木は「フクジュソウ(福寿草)」です。

フクジュソウは、キンポウゲ科フクジュソウ属の多年草で、別名では「ガンジツソウ(元日草)」、「ツイダチソウ(朔日草)」があります。

旧暦の正月(2月)頃に花が咲き出すことから、新年を祝う花として、いろんなおめでたい良い名前がつけられたとも言われています。

「フクジュソウ」は毒草で、地面から芽を出したばかりの頃は、「フキイトウ」と間違えて食べ、中毒を起した事例もありますので、注意しましょう。

花言葉は、永久の幸福・思い出・幸福を招く・祝福で、1月1日の誕生花となっています。

シリーズ 保護林 第22回

近畿中国森林管理局の保護林

なめらやま

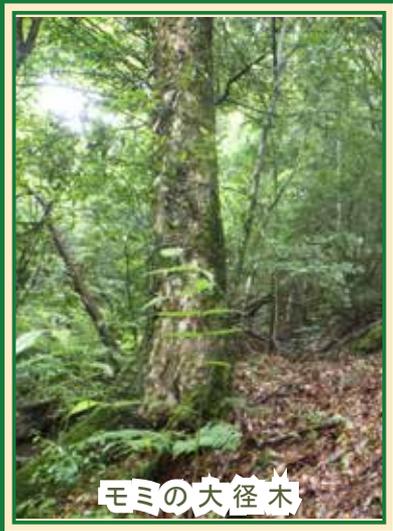
滑山林木遺伝資源保存林 (29 林班) [山口森林計画区]



アカマツの大径木



林内の様子



モミの大径木

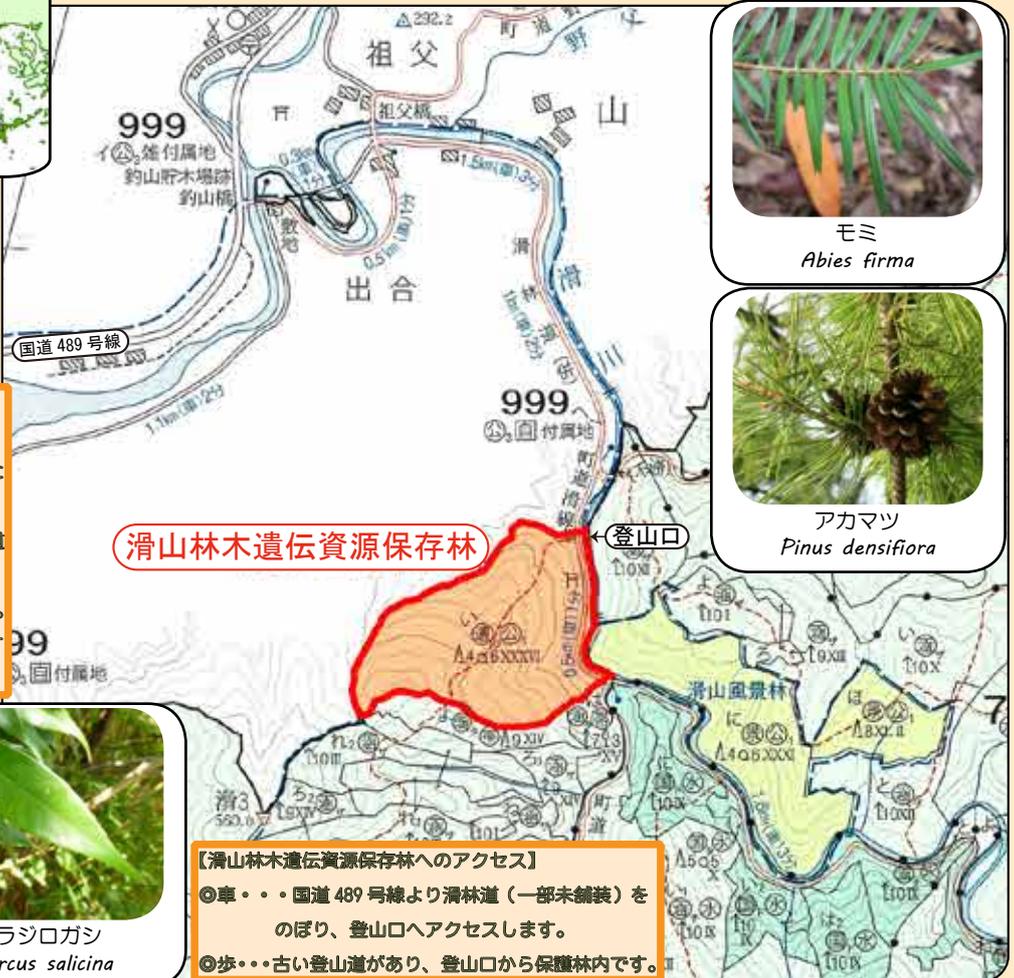
滑山林木遺伝資源保存林は、山口県山口市に位置しています。当保護林は保存対象樹種のアカマツ、モミ、ツガ、ウラジロモミをはじめ、その他希少樹種等の天然分布地を保護し、林木の遺伝資源を保存することを目的として設定しています。

面積は 12.93ha で、水源かん養保安林などにも指定されており、植生は保存対象樹種であるアカマツ、ツガ、ウラジロガシが林冠を形成しており、そのほかモミ、ヤブツバキ、スダジイなど多くの植物がみられます。



【滑山林木遺伝資源保存林に生育する植物】
 ◎植物: アカマツ、モミ、ツガ、ウラジロガシ、ヤブツバキ、スダジイ、サカキ、ヒササキ、シキミ、タブノキ、ハイノキ、イヌガシ、ツルシキミ、ヤブニッケイ、オオキジノオ、ユズリハなど

【保護林及び国有林内での注意事項】
 ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
 ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
 ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
 ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。



モミ
Abies firma



アカマツ
Pinus densiflora



ツガ
Tsuga sieboldii



ウラジロガシ
quercus salicina

【滑山林木遺伝資源保存林へのアクセス】
 ◎車・・・国道 489 号線より滑林道（一部未舗装）をのぼり、登山口へアクセスします。
 ◎歩・・・古い登山道があり、登山口から保護林内です。